



屯田



【すぐーる配信】

令和7(2025)年9月16日

学校便り 特別号
札幌市立屯田小学校

全国学力・学習状況調査の結果について

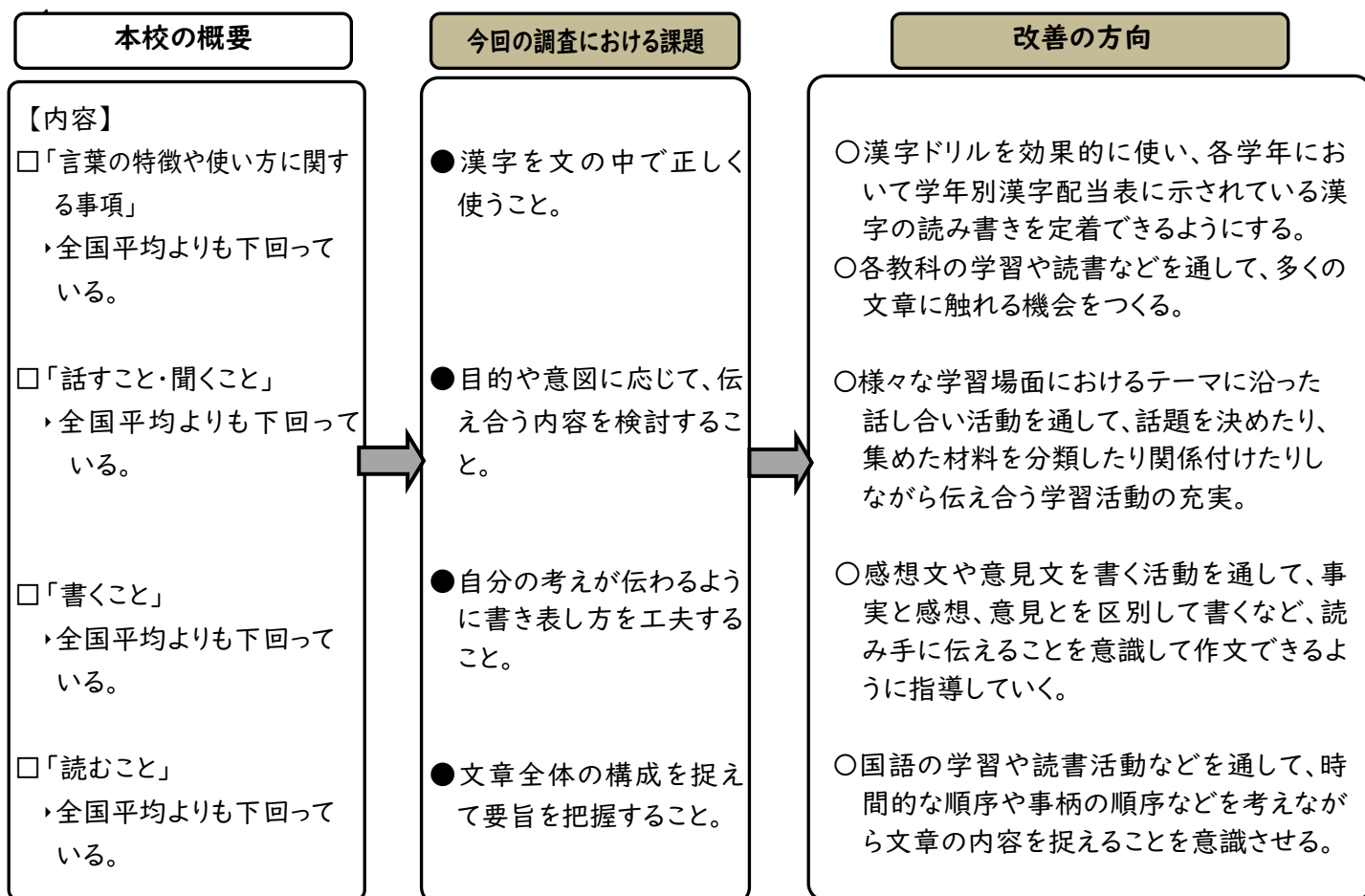
日頃より本校の教育活動にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、本年度4月、全国の6年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査の結果をお知らせいたします。個別の調査の結果については、6年生の各家庭に7月18日にお渡ししています。

【分析の考え方】

国語、算数、理科の学力調査結果および学習や生活の様子に関する質問紙調査結果について記述しています。本調査によって測定できるのは、児童の学力の一つの側面であります。今回の調査結果を分析することで、本校児童の学習状況の傾向や課題を明らかにし、今後の教育課程編成や教育活動の改善に生かしてまいります。

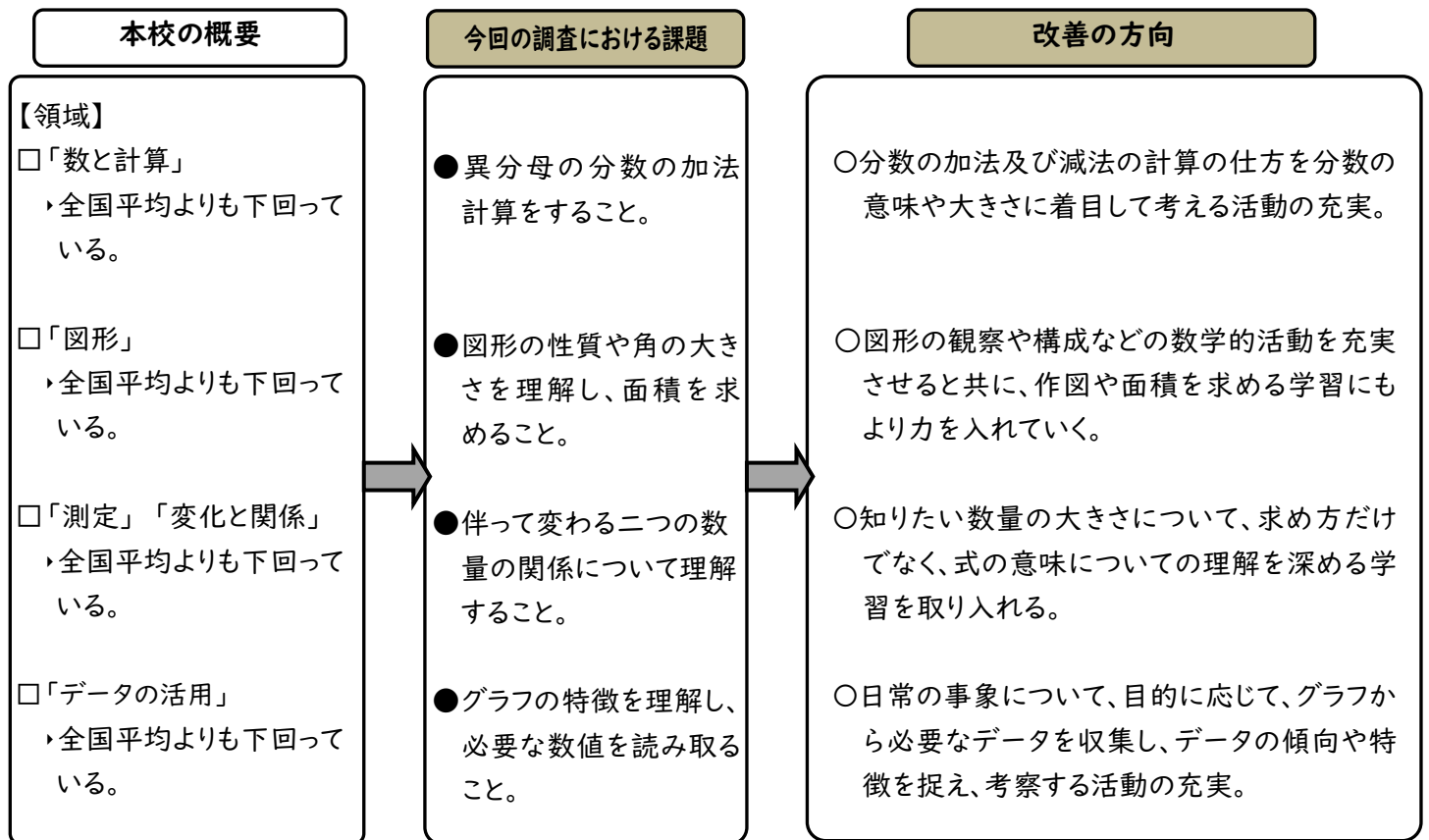
【学力状況についての調査結果から】 【国語】



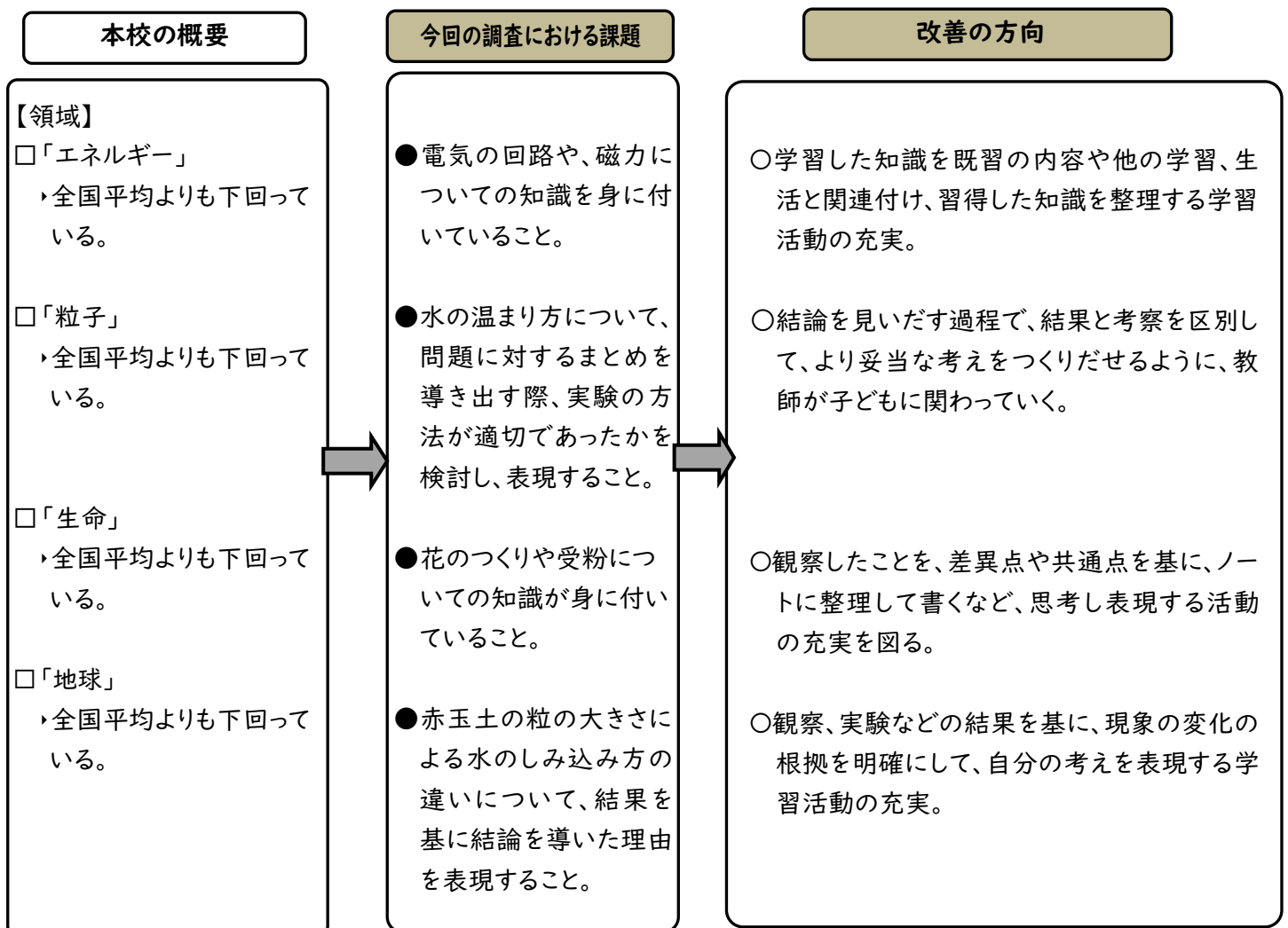
【全国の平均正答率と比較して、以下の規準でお伝えしています】

- ・+3.1ポイント以上 →「全国平均よりも上回っている。」
- ・+3.0ポイントの範囲内で全国平均以上 →「全国平均とほぼ同程度であるが、やや上回っている」
- ・全国平均正答率と同じ →「全国平均と同程度である。」
- ・-3.0ポイントの範囲内で全国平均以下 →「全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている」
- ・-3.1ポイント以下 →「全国平均よりも下回っている。」

【学力状況についての調査結果から】 【算数】



【学力状況についての調査結果から】 【理科】



【学習や生活の状況についての質問紙から】

全国と比較して差異の大きい質問、本校の児童の傾向が顕著に見られる質問について記述しています。

○肯定的な回答割合が全国と比べて多いといえる質問

- ①『自分にはよいところがあると思いますか』
- ②『人が困っているときは、進んで助けていますか』

●肯定的な回答割合が全国と比べて少ない質問

- ③『朝食を毎日食べていますか』
『毎日、同じくらいの時刻に起きていますか』
- ④『自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか』

分析、改善に向けて

- ① 本校では今年度、「一人一人がとんでんACE(エース)」を合言葉に、子どもの「自分らしさ」が大切にされ、多様性が生かされる学校を目指して教育活動を行っているところです。今後も6年生のキャリア教育「未来へのステップ」をはじめ、様々な教育活動を通して自分のよさを実感したり、発見したりできる場の創出を図っていきます。
- ② 6年生は、春に新1年生のサポート活動を積極的に行いました。どの子も、体の小さい1年生に対し、目線を合わせ親身になって関わっている姿が見られました。また、今年度は異学年交流を多く取り入れ、休み時間などには高学年が下学年に優しく接する機会が増えています。今後も、年齢にとらわれず、相手に寄り添う気持ちを大切にできるように指導していきます。
- ③ 朝食を毎日食べている児童の割合、毎日同じ時刻に起床している児童の割合が大変低くなっています。登校した時から元気のない子、挨拶の声が小さい子がいます。毎日の生活リズムが整うと、学校での授業にも集中しやすくなります。改めてお子さんご家庭での生活時間について振り返り、話し合っていいただければと思います。
- ④ 各教科において、まずは自分の考えをもつことは大切なことです。そして、失敗を恐れず、積極的に自分の考えを表出し、友達と考えを伝え合うことで、自分の考えを強くしたり、違う考えに触れたりしながら、個々の学びを深めていくことを目指して教育活動を進めています。今後も子ども一人一人が、自分の思いや考えを形成したり、集めた情報や他者の考えを踏まえて自分の思いや考えについて捉え直したりすることができるような学習場面を、単元や題材の中に位置付けていきます。